

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第10回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館のメンテナンス休館について

（2）大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進に向けての意見書提出について

・協議事項（公開）

（1）令和4年度地域活動支援事業の成果報告会について

（2）地域活性化の方向性について

（3）視察及び研修会の実施について

・その他（公開）

3 開催日時

令和4年12月22日（木）午後6時30分から午後8時00分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長

・委員：五十嵐郁代、金澤信夫、君波豊、佐藤忠治（会長）、新保輝松、関清、土屋郁夫、俵木一松、俵木晴之（副会長）、細井雅明（14名中10名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、柳澤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、布施教育・文化グループ長、風間班長、水澤主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【柳澤次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：土屋郁夫委員に依頼

【佐藤忠治会長】

3 報告事項（1）大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館のメンテナンス休館について、柿崎区産業グループから説明を願う。

【滝澤G長】

資料No.1により説明。

【佐藤忠治会長】

意見、質問はあるか。

【関清委員】

プールの機械室のドアを開けたままにしているのはなぜか。また、ヒーターや床暖房を2年ほど使用していないのはなぜか。使用するとかなりの費用が掛かるのか。

【滝澤G長】

今回はプールのメンテナンス、点検等も実施する予定である。前回の地域協議会でご指摘いただいたことも指定管理者に伝えてある。対応できる部分については対応していきたい。今ほどの関委員の話も指定管理者に確認したいと思う。経費節減ということで取り組んでいると思うが、寒い時期であるので指定管理者と協議していきたい。

【細井委員】

年末年始は忘年会や新年会のシーズンだが、この時期に休館するのは経営的にデメリットでしかなく普通感覚ではないと感じた。緊急性があってもやらなければならないなら仕方がないと思うが、そこが不可解である。

【滝澤G長】

ご指摘に感謝する。今回のろ過タンクの修繕だが予算を取ってから発注をかけ、納品

までに数か月掛かっている。指定管理者と協議をして時期を決めた。年明けすぐは厳しいが、例年冬期間は利用者が減るため初泳ぎ等が終わったこの時期となった。例年だと9月頃にプールの点検もするが、休館に合わせて点検時期も決めさせていただいた。

【君波豊委員】

メンテナンス経費を予算化していただき感謝する。我々は利活用促進について協議してきた。設備的な問題についてはお任せすることとしており、チャンスを逃さずにメンテナンスしていただけることを有難く思う。タイミングのいいときに修繕しないと後から倍になってくるのが設備だと思う。今後もよろしくお願ひしたい。

【滝澤G長】

大浴場ろ過器取替修繕工事は当初予算での対応だが、真空式温水ヒーター水漏れ修繕工事は緊急修繕での対応である。ご指摘のとおり、様々な所が老朽化して修繕が必要となってきた。限られた予算の中で緊急性の高いものから向かっていきたい。

【君波豊委員】

我々も視察で機械室の中を見せていただきメンテナンスの必要性を感じている。今後ともよろしくお願ひしたい。

【佐藤忠治会長】

他に質問等あるか。

(一同無し)

では、大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館のメンテナンス休館についてを終了する。
～柿崎区産業グループ退席～

次に報告事項(2)大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進に向けての意見書提出について協議を行う。事務局から説明を願う。

【風間班長】

資料No.2により説明。

【佐藤忠治会長】

意見、質問はあるか。

【土屋郁夫委員】

回答が来たら郵送やメールで事前に配付してもらえば次回の審議がスムーズになるのでお願ひしたい。

【風間班長】

配布できる資料については事前に送っているので、同じように取り扱いたい。

【君波豊委員】

12月26日に大潟地域活性化センターに説明してから市へ提出するというのか。

【佐藤忠治会長】

市へ15日に提出した。

【君波豊委員】

それであれば仕方がないが、意見書が市ではなくて大潟地域活性化センターに向けて言っているように感じた。

【佐藤忠治会長】

他に意見、質問が無ければこの件は終了する。次に、協議事項（1）令和4年度地域活動支援事業の成果報告会について協議を行う。事務局から説明を願う。

【水澤主任】

資料No.3により説明。

【佐藤忠治会長】

成果報告会を実施する方向で提案しているが、実施することとしてよろしいか。

（一同了承）

では、開催日をどうするか。

【君波豊委員】

マタニティー&子育て家族フェス事業が2月25日に実施されて、1週間くらいで整理できるのであれば3月3日から10日の間に実施してはどうか。

【佐藤忠治会長】

事務局との打合せでは3月6日から10日の間がいいのではないかという話になっていた。平日の開催でよいか。

（一同了承）

10日は会場が埋まっているため3日から9日の間でいつにするか。

【俵木晴之副会長】

9日はどうか。そうすればマタニティー&子育て家族フェス事業も終了して2週間近くあり、報告書等の作成もできるのではないか。

(一同了承)

【佐藤忠治会長】

では3月9日(木)として、時間は時間案①とする。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため参集者を40人程度としていた。地域協議会委員を含めての人数であったか。

【水澤主任】

地域協議会委員を含めての人数で、最終的には50人までを限度として開催した。

【佐藤忠治会長】

昨年と同じように各団体2名ずつということによいか。

(一同了承)

個人の参加希望はどうするのか。

【水澤主任】

総合事務所に申し込んでいただく。全体の参集人数は決めなくてもよいか。

【五十嵐郁代委員】

あの会場では50人程度いないと寂しいのではないか。

【佐藤忠治会長】

では50人程度としたい。

【水澤主任】

50人を基本とし、参加申し込み状況によって事務局で調整させていただきたい。

【佐藤忠治会長】

委員の役割分担はどうするか。

【五十嵐郁代委員】

今日は欠席の委員もいるので次回以降の地域協議会で協議すればいいのではないか。

【佐藤忠治会長】

では次回以降に決めたい。各団体は事業が終了しているのか。

【水澤主任】

資料No.3の中の報告順の①から④は終了して実績報告書が提出されている。⑤はメインのイベントは終了しているが、読者との意見交換会を年が明けてから実施予定である。

【佐藤忠治会長】

令和4年度地域活動支援事業の成果報告会についてを終了する。次に、協議事項（2）地域活性化の方向性について協議を行う。事務局から説明を願う。

【風間班長】

資料No.4により説明。

【佐藤忠治会長】

11人の委員から意見を提出していただいた。

【細井雅明委員】

配付された地域協議会だよりでは住民の意見を募集するとあるが、それはいつ決まったのか。

【佐藤忠治会長】

前回の地域協議会と編集委員会である。

【細井雅明委員】

編集委員会で決めたのか。地域協議会で決めていなくても編集委員会で勝手に出しているのか。

【佐藤忠治会長】

前回の地域協議会で地域の声を聞こうとなった。

【細井雅明委員】

地域協議会でこのような結論になっていなくても編集委員の考えだけで出しているものなのか。私は、前回の地域協議会で団体との話し合いをしてもいいのではないかと話したが、地域の方の意見を聞くという話が出なかったという気がする。事務局が独自に意見を募集するのならいいが、あたかも地域協議会で決まったかのようなようである。

【佐藤忠治会長】

前回の地域協議会で「地域の団体と話し合いをする。」「地域に呼びかけて意見をもらう。」などの意見をもとに掲載した。

【俵木晴之副会長】

前回の地域協議会の自身の記録を確認したが、ある委員から「地域協議会だよりに掲載して意見を募集してもいいのではないか。」という意見があり、了承されて掲載された。編集委員の考えだけで掲載したわけではない。

【細井雅明委員】

私にはそういう認識がなかった。

【佐藤忠治会長】

事務局から他区の実例の例をいただいたので参考にしている。

【細井雅明委員】

意見募集を1月に締め切って、2月にまとめるのは難しい。スケジュール的には3月までに終わらせなくてもいいのか。

【佐藤忠治会長】

そうである。事務局との打合せでも2月にまとめるのは無理だろうという話になった。3月末くらいまでに地域協議会で案を作成してはどうか。委員の意見を取りまとめるのも、地域の声を取りまとめるのも大変だと思う。意見の絞り込み方法について案を出していただきたい。本日は各委員の意見を確認したばかりなので内容の協議はしない。

【君波豊委員】

地域活性化の方向性については、年度末くらいまでにまとめればいいのか。

【佐藤忠治会長】

そうである。

【君波豊委員】

それであれば地域の方から出てきた意見も含めてまとめていけばいい。グループ討議をするのも1つの方法である。11月9日に開催された大潟区連絡会議で、この件や地域独自予算の話をしているのか。

【佐藤忠治会長】

地域独自予算については話があったが、この件については話をしていない。

【君波豊委員】

町内会長がどこまで考えてくれるか、提案してくれるかは分からないが、各町内をまとめる人たちの意見は大事な要素となると思った。大潟区連絡会議で話が出ていないのなら、各町内会長に声を掛けて「意見を出して欲しい。」と言ってもいいのではないかと思う。

【佐藤忠治会長】

今後、意見の絞り込みをする中で町内会長協議会やまちづくり大潟の役員等とも協議

をしたい。

【細井雅明委員】

これを1年かけてやるのなら別にいいのだが、それしかできないとなるとその次の地域独自予算にも関わってくる。スケジュールを立てたほうがいいという気がする。

【佐藤忠治会長】

各委員から出た意見の中から3つから4つ選んできてもらい、次回の地域協議会で検討する。3月末までに地域協議会案を作成し、4月に町内会長協議会やまちづくり大潟などの団体から集まっていたいただき案を基に意見交換をして作り上げる。住民からも1月下旬までアイデアを募集しているので、それを含めて3月末までに案を作る。そのような方向でどうか。地域協議会では2班に分かれてグループ討議でもいい。まずは、各委員の意見をよく読んでいただきたい。

【君波豊委員】

すでに作成した区の地域活性化の方向性を配布してもらっているが、そのような形にして提出するということか。

【佐藤忠治会長】

そうである。

【君波豊委員】

了解した。

【金澤信夫委員】

今回そのような形で提出したが、各委員の意見の中から再度そのような形にして提出するということか。

【佐藤忠治会長】

そうである。重複している意見もあるし、自分とは違う意見もあると思う。

【金澤信夫委員】

次の地域協議会までに事前提出か。

【佐藤忠治会長】

事前に提出いただきたい。

【新保輝松委員】

すべての意見の中から再度作成するのは無駄ではないか。ここで重複意見はまとめて

協議するならいいが、14人がそれぞれ作成して提出すれば、また14通りの意見が出てまとまらない。

【佐藤忠治会長】

では、会長副会長で類別にして皆さんにお示ししたい。

【土屋郁夫委員】

その時に、期間的に長期にわたるもの、短期になるもの等があるので時間軸もうまくまとめていただきたい。例えば、2番、6番はすぐにでもやってほしいことだろうし、まちづくりという大きなことは長期に渡るものになる。完璧でなくてもいい。

【佐藤忠治会長】

事務局と相談して次回の地域協議会前までにお配りしたい。次回それを基に協議したい。3月の地域協議会で案を作成し、4月、5月に団体との意見交換を行うという予定でよいか。

(一同了承)

協議事項(3)視察及び研修会の実施について協議を行う。事務局から説明を願う。

【風間班長】

視察及び研修会の実施について、前回の地域協議会で希望を伺った。その場で意見がなく、その後も意見は出てこなかった。あまり日もないが、今年度の視察研修等を実施するかどうかを決めていただきたい。実施するのであれば内容も協議いただきたい。

【佐藤忠治会長】

意見はあるか。

【細井雅明委員】

これからは天候も悪くなり難しい。私は実施しなくてもいいと思う。

【佐藤忠治会長】

実施をしないということでもいいか。

(一同了承)

その他に入る。委員から何かあるか。

【細井雅明委員】

7月に「いきいきおおがたプロジェクト」を提案させていただいたが、そのまま放置されておりスケジュール的にも厳しいので取り下げたい。

【金澤信夫委員】

細井委員が提案を取り下げるとのことである。地域協議会1回のテーマが1つであるが、それでなければいけないのか。時間を区切って2つのテーマを同時進行する等しいと細井委員の提案もいつになっても協議できない。時間を区切って、前半はこれを協議して、後半はこれを協議するというのでは駄目なのか。

【佐藤忠治会長】

今日は細井委員の提案について考えていなかった。

【金澤信夫委員】

一考願う。

【佐藤忠治会長】

細井委員の提案について次回協議したい。

【土屋郁夫委員】

他区の地域協議会に行ったとき、大体このくらいで議事を進めるという時間割が組んであった。そのようにしてもらえば事前に資料も配布されているので、8時までに2つのテーマを短時間でできるのではないか。そうすれば金澤委員の言われたとおりにできると思う。他区の地域協議会の資料を見て、進行を会長、副会長で練っていただきたい。

【佐藤忠治会長】

細井委員の提案をどこで協議するかが先送りになってしまった。取り下げずに次回協議することでよいか。

【細井雅明委員】

私が考えた案は長期のスケジュールであり、あまり先に行ってしまうとその後の時間の制約もあり予算化に向けて難しい。今の話を聞いていて、いつになるかわからないのなら取り下げたほうが良いと思った。スケジュールとか地域協議会の会議の内容、全体的な進行を考え直さないと難しいと思った。

【佐藤忠治会長】

次回の地域協議会で細井委員の提案を協議したい。時間の割り振りについては、事務局から私のところにはきている。次回からは皆さんの資料にも記載してもらおう。

【君波豊委員】

今の件だが、できればまちづくり大潟、或いはそこに所属する団体と「白の器」を作

った様に「いきいきおおがたプロジェクト」という集まりを作ってもらえばいいのではないかと思う。その中で具体的なことをどんどん提案する、或いは地域独自予算に乗せていくという方法もあると思う。地域活性化の方向性の1つの課題として「いきいきおおがたプロジェクト」を結成するという項目として入れ込んでもいいのではないか。どこかでそういったプロジェクトを作ってくれば一番いい。その中で具体的なものを提案したり、地域独自予算に結び付けたりできないものかと思う。

【佐藤忠治会長】

総合事務所から連絡等はあるか。

【水澤主任】

2月の地域協議会開催日についてだが、定例の開催日となる第4木曜日が祝日となる。先の話であるが、皆さんのご都合もあるので開催日の検討をお願いしたい。

【佐藤忠治会長】

1週早めて16日にするか、23日の前後にするか。

【君波豊委員】

22日か24日がいいのではないか。

【佐藤忠治会長】

では22日か24日でいかがか。

(22日の声多数)

2月の地域協議会は、22日(水)とする。

【風間主任】

配布物について連絡する。地域協議会だより第52号と今年度の除雪計画書をお配りしてあるので確認をお願いしたい。

【君波豊委員】

除雪計画書は読めば大体分かるのだが、おそらく町内会長協議会で各町内会長からいろいろ意見や要望が出たと思う。毎回言うのだが、市道と県道、国道等の交わる場所の雪の塊について支障の無いようお願いしたい。また、地域協議会だよりだが柿崎区のたよりが字も大きく非常に読みやすい。大潟区のたよりは全体に薄くなりがちである。柿崎区は写真もはっきりしているが業者に頼んでいるのか。

【水澤主任】

業者に頼んではいけないと思われる。印刷機の性能の差ではないかと思う。

【佐藤忠治会長】

今回、字体がいつもより細いものであった。

次回の協議会の日程案について事務局から説明願う。

【柳澤次長】

第12回地域協議会を1月26日木曜日午後6時30分から開催する。

【俵木晴之副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。